

## < コロナ禍における私幼団体の実態調査 >

### 静岡市

1. コロナ禍での行政とのやり取りがどの様に行われているか  
行政のやり取りは停滞気味で進んでいないのが現況。  
来年度に向けての陳情、要望等は検討中である。
2. 各政令市で感染者が出た時に、市がどこまで発表して、私幼団体がどこまで、どのように加盟園に伝えているか  
静岡市では、10月30日に県内初の幼保施設から感染者が出た。  
まず市より記者発表があり、人数と行動歴が示された。園名は発表されなかった。  
その後新聞発表で濃厚接触者の経過の発表があった。  
当連合会としては研修会等で他園との接触があったかを調べるにとどまり、園が特定できるようなお知らせは発信していない。
3. 研修会をどの様に行っているか  
4月から6月に予定していた研修会は延期とした。  
8月の研修は YouTube 配信とし、参加者がレポート提出をする方法にて実施した。  
9月には会場を広い場所に移し、各園の参加人数を制限して対面式にて実施した。  
10月以降は会場の消毒、参加者の検温・マスク着用・間隔等、基本的注意事項に留意して実施していく予定。
4. 予算が執行できない状況でどのように処理する予定でいるか  
予算執行については、今のところ支出できているが、もし予算が残った場合については当局に善処をお願いしている。

5. 就職に向けての学生とのつながりをどの様にとらえているか、また実行しているか

今年度はコロナ禍の中、養成校の実習期間もまちまちで、対応に苦慮している。大学側とのリクルートも、各園独自に取り組んでいる。